



## 編集雑記

## 既刊案内 (特集・主要記事)

### [2月号]

◎**緊急連載**「能登半島地震 被災状況と復興への方向」(1)神戸大学大学院工学研究科 市民工学専攻 鍛田泰子教授に聞く樹形状の配水システムの再構築は非現実的 当面は貯水施設へ水を運搬し集落の復旧に合わせてシステム再検討を…水道ネットワーク通信・有村源介 ◎「シリーズ 次代を担う衛生・環境工学者 No.87」八戸工業高等専門学校 産業システム工学科 環境都市・建築デザインコース 准教授 李 善太(イーンソテ)氏を訪ねて ファージセラピーを活用した薬剤耐性菌の制御に挑戦 田中宏明教授の「沖縄再生水プラント」で成果…水道ネットワーク通信・有村源介 ◎グリーンインフラの推進を通じて「自然と共生する社会」の実現に取り組みます…国土交通省 ◎被災住宅の補修等のための電話相談等について…国土交通省 ◎令和6年能登半島地震に伴う雇用調整助成金の特例を実施します…厚生労働省 ◎移住・二地域居住等の促進に向けた対応の方向性等をとりまとめ…国土交通省 ◎住宅省エネ2024キャンペーンにおける先進的窓リノベ2024事業の詳細について公表します…環境省◎「防災・減災対策強化へ」13億円配分… 国土交通省 ◎全管連 水道全面復旧活動を鋭意展開…月刊コア編集部 ◎「ブックレビュー」NPO給排水設備研究会「給排水設備研究」2024年1月号から転載 ◎「年頭所感」救命・救助活動に全力中小企業など支援強化…経済産業大臣 齋藤 健 ◎「明日への道標」命の水の担い手として一ライフラインを守る管工事業界…(株)日本設備工業新聞社代表取締役社長 高倉克也 ◎「東京見て歩き」(121) 江戸最古の七福神一谷中七福神巡り…(一社)スマート水道推進協会会長・(株)日本設備工業新聞社顧問 坂本弘道 ◎「特別連載」平成を偲ぶパロディ狂歌集(58)―平成一人百首「税務行政」その1(全3首)…弁護士 野平大魚 ◎建築着工統計[2023年11月]…国土交通省 ◎エッセイ西村修一、新田純子

### [3月号]

◎**緊急連載**「能登半島地震 被災状況と復興への方向」(2) 珠洲市の被災現地に行く① 半島で発生した大震災、寸断された道路と倒壊家屋が復旧を阻む 基幹・宝立浄水場にモバイルシフォンタンク(日本原料<株>)を導入…水道ネットワーク通信・有村源介 ◎「シリーズ 次代を担う衛生・環境工学者 No.88」京都大学大学院 工学研究科都市環境工学専攻 准教授 日高 平氏を訪ねて メタン発酵を核とした資源エネルギーの循環生物処理に魅せられて…水道ネットワーク通信・有村源介 ◎「新・全国統一指標」令和4年度取組状況のまとめ～建設工事や業務に関する品質確保や働き方改革のための取組状況をまとめました…国土交通省 ◎第47回技能五輪国際大会(フランス・リヨン)に出場する日本代表選手を決定しました…リヨン大会は2024年9月に開催、日本は47職種に55名を派遣…厚生労働省 ◎「令和5年版 日本の水資源の現況」を公表…国土交通省 ◎雇用・労働関係の特例措置をまとめたリーフレットを作成しました…厚生労働省 ◎令和6年3月から適用する公共工事設計労務単価について… 国土交通省 ◎令和5年度 河川愛護月間「絵手紙」入賞作品決定！～川への思いが伝わってくる絵手紙です…国土交通省 ◎令和6年能登半島地震からの復旧・復興に向けて 北陸地方整備局に能登復興事務所を設置…国土交通省 ◎「施工技術検定規則及び建設業法施行規則の一部を改正する省令」等が公布…建設業における技術者制度の見直しが行われます…国土交通省 ◎「能登半島地震」早期復旧へ管工事組合出動 全管連 相次いで被災地に派遣…月刊コア編集部 ◎「寄稿」「命の水物語」をお勧めします…(株)ミナミサワ代表取締役 南澤俊文 ◎「明日への道標」プラハの春を信じて一五輪の名花 チャスラフスカ…(株)日本設備工業新聞社代表取締役社長 高倉克也 ◎「東京見て歩き」(122) 再開発の日本橋界隈…(一社)スマート水道推進協会会長・(株)日本設備工業新聞社顧問 坂本弘道 ◎「特別連載」平成を偲ぶパロディ狂歌集(59)―平成一人百首「税務行政」その2(全3首)…弁護士 野平大魚 ◎建築着工統計[2023年12月]…国土交通省 ◎エッセイ西村修一、新田純子

ちょうど締め切りの日で原稿の整理に追われていた。どの面に、どんな記事を、どういう形で載せるのか思案する。午後3時近くになって建物が弓なりに軋む震動に見舞われ、周囲に積み重ねた資料や書籍が崩れ落ちた。しばらくしてベテランの社員が発した「こんな揺れは初めてだ」という呆然とした声がいまも耳に残っている。

わたしは家族の安否を確認し、社員を帰宅させて仕事に戻った。明日からのことを考えると一定の区切りをつけておきたかった。波のように繰り返す余震のなかで午後11時頃ようやく1面の記事の手直しを済ませて渋谷駅へ向かう。すると東急の地下鉄が運転を再開するというアナウンスが流れて閑散とした車両に乗り込んだ。

3月11日に発生した東日本大震災から13年の歳月が流れた。東北の被災地では災害公営住宅の入居者の高齢化・生活苦・孤独死などが報じられている。福島第1原発事故では3万人近くが故郷を追われ、いまなお高濃度放射能汚染水が大量に発生して処理水の海洋放出が危惧されている。道路や建物は復旧しても復興への道はまだ遠い。

東日本大震災における苦難は能登半島地震で被災した人々の現在と連なっている。過去の教訓はどれほど生かされているのか。むしろ年を重ねるごとに風化している気がする。心理学では記憶を情報の記録・保持・想起の過程と見做している。人間は経験と共に記憶を再構築していく。記憶を忘却して救われることもあるだろう。だが忘れてはならない記憶もたしかに存在する。(高倉)

給排水・衛生・環境設備の総合誌

月刊「コア」第413号

令和6年4月10日発行 定価1,000円(税別)

発行編集人 高倉克也

印刷所 (株)日本設備工業新聞社出版事業部

発行所 〒150-0031東京都渋谷区桜丘町10-13

(野元第1ビル)(株)日本設備工業新聞社

TEL (03) 3496-4774(代)

FAX (03) 3464-1884